



www.OptionClub.net

オプション倶楽部TV (毎週水曜22時配信)



【売坊流】異常値分析

高すぎる日米株価の 調整局面が始まった

この番組では日本株や米国株のトレードに役立つようなイベント、グレイ・リノ、**異常値**について紹介していきます！



OP売坊



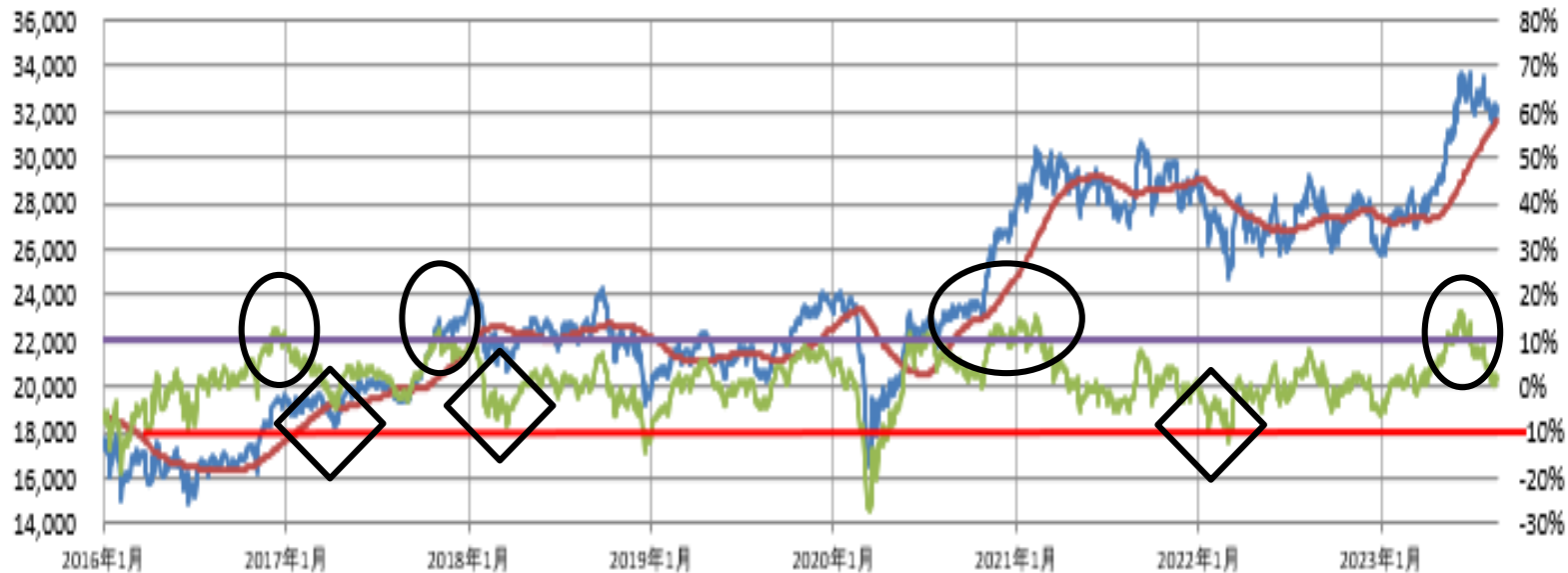
PBRと乖離率が今回も日経平均の頭打ちを示唆

日経平均とPBR（株価純資産倍率）



2017年以降、PBRが**1.4倍水準を超えていません**。一方、下値は、まず1.1~1.2倍水準が意識されています。過去のパターン分析、つまり経験則が日経平均の天底を示唆しています

90日移動平均線からの乖離率



8月28日現在、+1.75%まで下げてきました。このような場合、移動平均からかなり乖離したところで買っていた投資家の含み損が膨らんでいます。いわゆる「投げ」につながる形です

出所) ブルームバーグより筆者作成 (2023年8月28日現在)



NT倍率と裁定残高が日経平均のトレンド転換を示唆

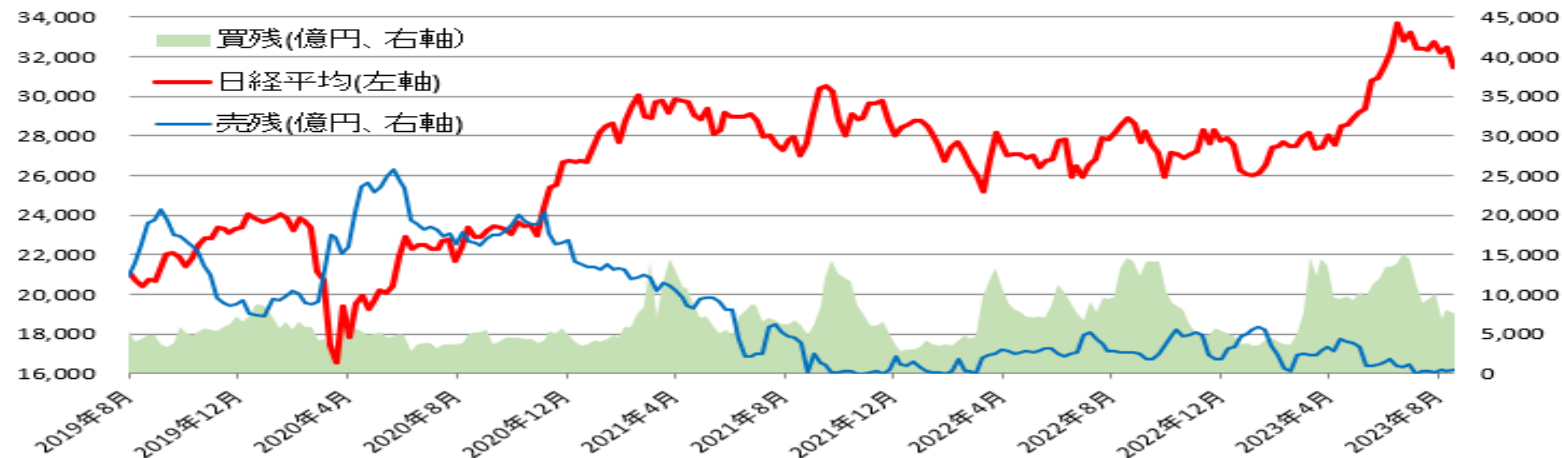
NT倍率（日経平均÷TOPIX）は再度14倍割れ



出所) ブルームバーグなどより筆者作成 (2023年8月28日現在)

NT指数は相場つきをよく表しています。NT倍率が上昇しているときは、日経平均が強く、その逆も真なりです。今回14倍を割れてきたことで、相場環境が変わったと考えています

裁定取引の買い残高（先物売り・現物買い）と売り残高（先物買い・現物売り）



出所) JPX、ブルームバーグより筆者作成 (2023年8月18日現在)

裁定買残の減少も、日経平均の下落に影響しているでしょう



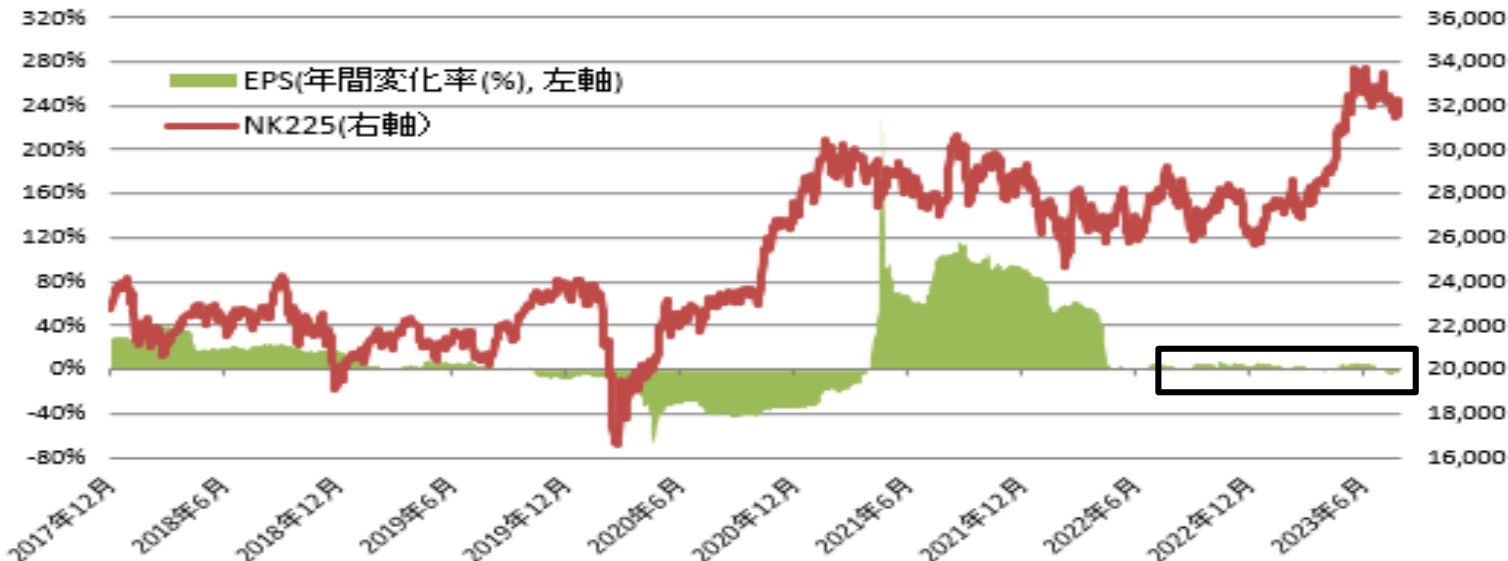
4-6月期決算が期待外れだった

日経平均はEPS（1株当たり収益）×PER（株価収益率）バンドの15.5倍を抜けず



日経平均が予想EPS（1株当たり利益≒企業業績）×PER（株価収益率≒成長性）バンドの上辺（15.5倍）できれいに頭打ちとなりました。人口減少などで潜在成長率が低い現在の日本の環境では、やはりPERの上限が意識されたのでしょうか

予想EPSの年間変化率と日経平均



予想EPSは6月21日の**2200.21**を天井として低下傾向です。円安に伴う予想EPSの上昇が裏切られたことで、高いPERの水準が維持できなくなったということです

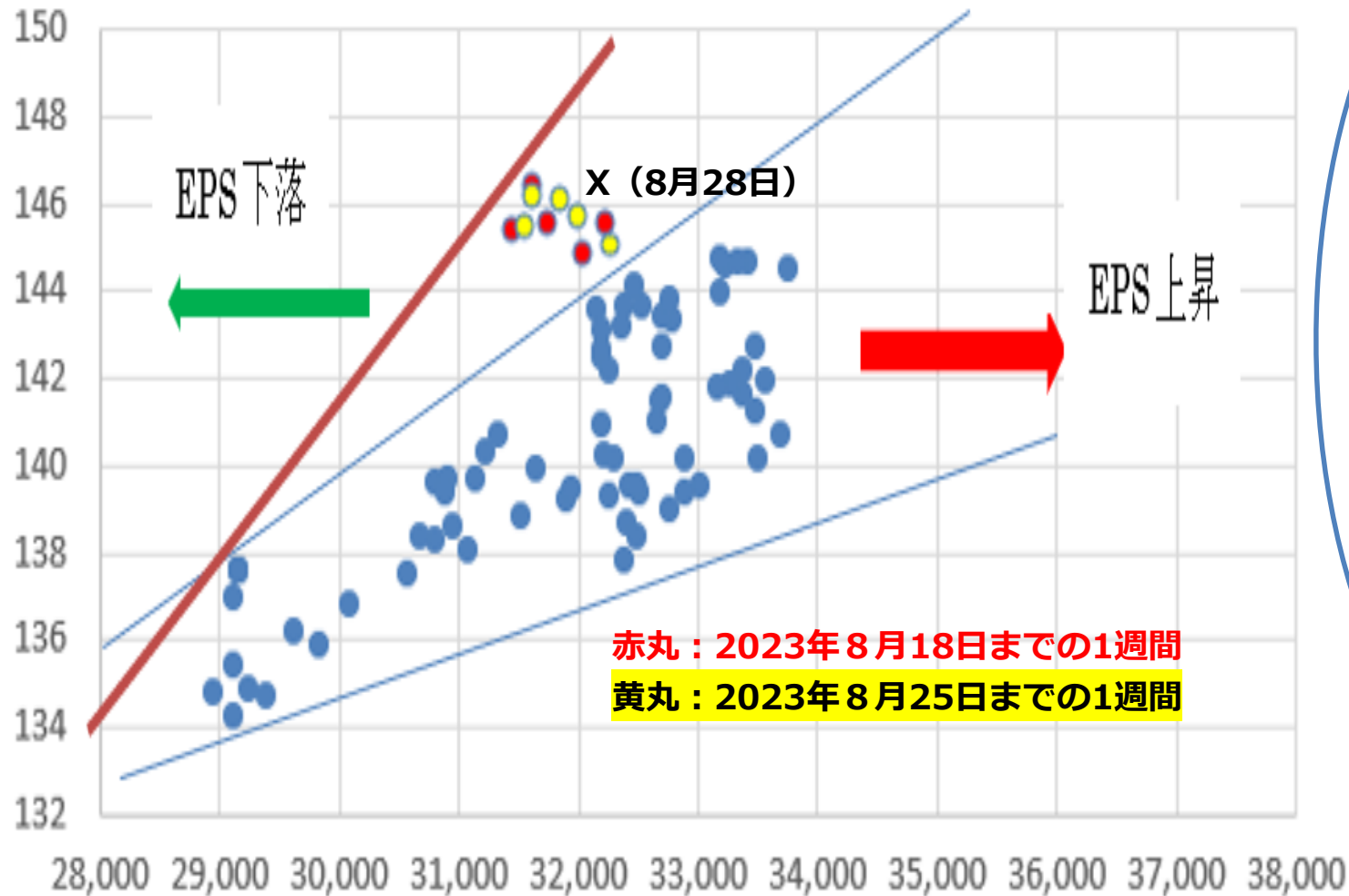
出所) ブルームバーグより筆者作成 (2023年8月28日現在のEPS : **2126.24**)



2023年4月末以降の日経平均とドル円レート

ドル円レート（縦軸）と日経平均（横軸）の分布図（23年4月末～8月28日）

ドル・円



赤丸と黄丸で分けているのは、過去2週間で相場つきが変わったことを示したかったからです

4-6月期の決算がほぼ出そろったところから、円安への株価感応度が明らかに変わっているのを見て取れると考えています。今後も企業業績、つまり予想EPSが上昇しなければ、丸は株高を示す右方向へ移動できず、上に動くようになると考えています



9月13日発表の米8月分CPIは反発の気配

米クリーブランド連銀の8月分CPI（消費者物価指数）前年同月比予想

INFLATION, YEAR-OVER-YEAR PERCENT CHANGE

Month	CPI	Core CPI	PCE	Core PCE	Updated
August 2023	3.83	4.46	3.60	4.01	08/25
July 2023			3.23	4.23	08/25

出所) クリーブランド連銀 (2023年8月25日現在)

年内の米政策金利（FFレート）3つのシナリオ

	9月	11月	12月	
市場予想	据え置き	+0.25%	据え置き	(2023年8月28日現在)
予想A	据え置き	+0.25%	据え置き	現在の筆者予想
予想B	据え置き	据え置き	+0.25%	現在の筆者予想
予想C	据え置き	+0.25%	+0.25%	株価急落懸念シナリオ

6、7月分のCPIはそれぞれ**3.0%**と**3.2%**でした。一方、ク連銀の8月分CPI予想値が**3.83%**と大幅上昇となっています

市場の大方は、政策金利の年末水準が現状と同じとの予想となっています。一方、CPIに急反発があれば、あと1-2回の利上げがあるかもしれません



Fear&Greed指数が今回も米国株の頭打ちを示唆

Fear&Greed (恐怖・強欲) 指数の動きとS&P500



Fear&Greed指数は市場参加者の恐怖度・強欲度をVIXなど7つの要素から算出した指数です。加熱時が100%下落を示唆しているわけではありませんが、要警戒となります



OP関係の情報も米国株の頭打ちを示唆

S&P500、売坊—OP合成指数とその移動平均 (2023年8月28日)



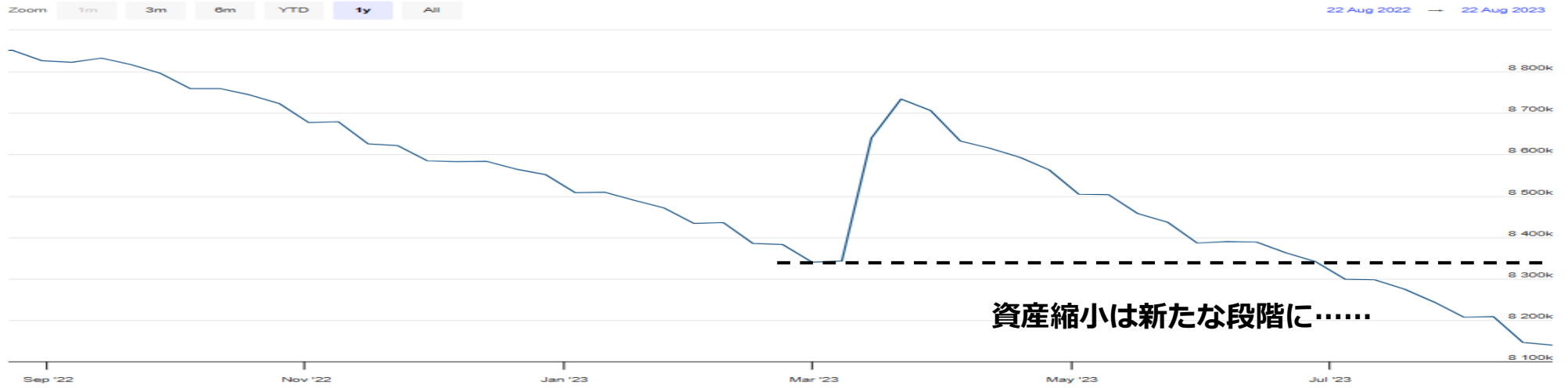
売坊—OP合成指数はOP市場からの情報で市場参加者の感情トレンドを把握しようと独自に作成しているものです。移動平均で方向性をみています

移動平均が8月1日から下落基調となってきています。これが定着してきましたので、S&P500は弱気トレンドに入っていると考えています。なお、奇しくも移動平均がピークとなった7月31日に、S&P500が直近高値(4588.96)を付けています



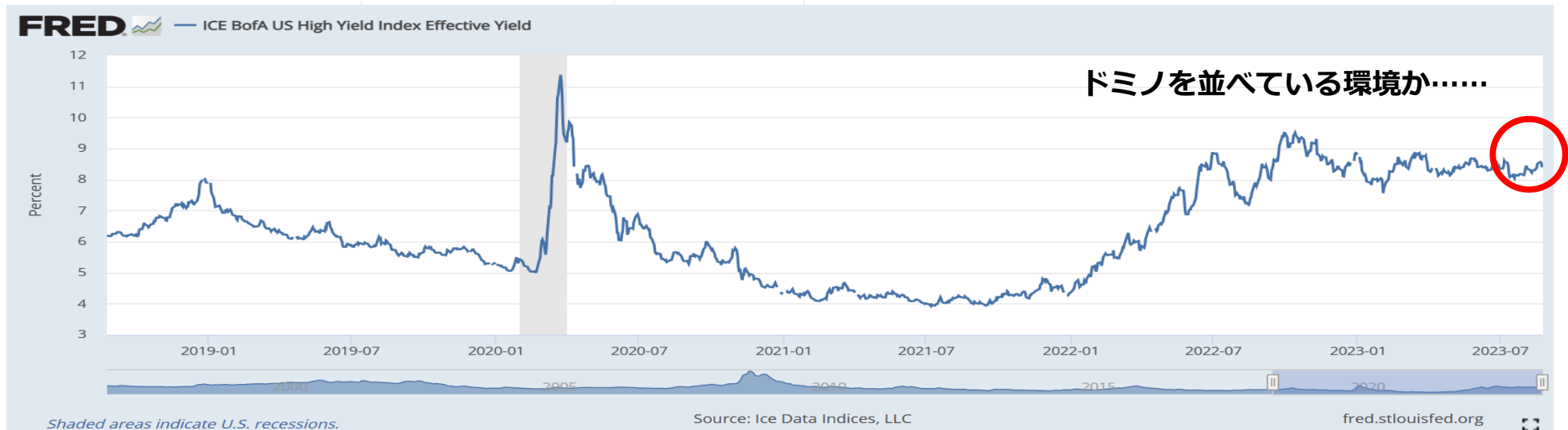
引き続きFRBのバランスシートに注目

FRBのバランスシート推移



出所) www.federalreserve.gov/monetarypolicy/bst_recenttrends.htm

米高利回り債（ジャンク債）利回り推移（2023年8月25日）



OP売坊の重要視しているもの

確率・勝率・収益率

資産管理・
リスク管理

オプションは面白い



パターン分析
(時系列
・分布)

簡単・
シンプル

オプション倶楽部TVでは配信動画をさらに楽しんでいただくため、**無料メルマガ「グレイ・リノ通信」**で補足Q&Aを発行しています。**登録はOP倶楽部のサイト (optionclub.net) にメールアドレスを入力していただくだけ。**同メルマガでは、視聴者様・読者様から寄せられた質問への回答やOPトレードに関する情報もお伝えしています。ぜひぜひお気軽にご登録ください！ **質問も募集中!!**

質問大募集 →

<http://trs.jp/r/op-form>



最後までご清聴、誠にありがとうございました。

講師ブログ『実践オプシオン教室』

<https://www.jissennkop.blog.fc2.com>

講師ツイッター『OP売坊@OP49431790』

<https://twitter.com/OP49431790>

Copyright © 2019-2023 OP売坊 / Pan Rolling Inc.

All rights reserved. This report is for authorized recipients only and not for public distribution.

免責事項

- オプション倶楽部TV（以下「本動画」）で使用した図表・数値などは、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、その正確性・信頼性・完全性を保証するものではありません。
- 本動画に掲載された情報・図表・資料は、あくまで金融知識の向上と情報提供を目的としたものです。証券など金融商品の売り買いを提案・勧誘するためのものとして、また証券など金融商品について助言・推奨するものとして、利用・解釈しないでください。
- 本動画は一般向けに編集されています。特定の投資目的・特定の投資環境・特定の投資家を一切考慮していません。事前に専門家の適切な助言を受けるべきですし、最終的な投資判断は、個々人が個々の状況を考慮して、自らの責任で下すようにしてください。
- 本動画に基づく行為の結果、発生した障害・損失などについて講師およびパンローリング社は一切の責任を負いません。
- 本動画に記載されたURLなどは予告なく変更される場合があります。
- 本動画に記載されている会社名・製品名は、それぞれ各社の商標および登録商標です。



YouTubeで『オプション倶楽部TV』を配信中！

水曜22時からパンローリングチャンネルで！！



3つの視点で日本株・米国株・為替などの市場を大きく揺るがしそうな材料を分析します



第一週
政治経済イベント分析



第四週※
異常値分析



第二週
グレイ・リノ分析

第五週はトレード・投資に役立つ
OPワンポイント解説



※祝日や暦などによってラジオ出演と異常値分析が入れ替わる場合があります。

第三週※はラジオNIKKEI月曜16時～

『キラメキの発想』に出演！

<https://www.radionikkei.jp/kirameki/>



ラジオ放送も情報提供の一環と位置づけており、ラジオ出演週の水曜配信は、お休みとさせていただきます

専用ページ <https://www.panrolling.com/tv/opctv.html>



OP売坊の無料メルマガ『**グレイ・リノ通信**』

売坊先生のYouTube動画を何倍も楽しめる

補足記事やOPトレードに関する情報を配信中！

詳細・登録は www.OptionClub.net から



- ・日銀金融政策決定会合はOP**買い**戦略のチャンス!?
- ・最近の裁定売り残・買い残の推移から、どのようなことがみえてくるのでしょうか？
- ・中国が着々と米国債を売って金を買っている!?
- ・米国株の「不都合な真実」とは何でしょうか？
- ・OP**買い**戦略で確認・対処すべきポイントとは？
- ……など

読者には入門セミナーと本コースの受付を**先行・優先でご案内**いたします

オプション倶楽部 検索